



『親子ふれあい病院体験』参加者集合写真（前列中央：伊藤院長）

CONTENTS

特集 “親子ふれあい病院体験”

当院で初めて開催した
イベントについて紹介します。…………… P.1

- 災害救護活動報告…………… P.4
- 診療科紹介（脳神経外科）…… P.5
- 新任医師紹介…………… P.6

- 地域医療連携だより…… P.7
- INFORMATION



令和元年 秋号

Vol.62

親子ふれあい病院体験

「親子ふれあい病院体験」を企画して

院長 伊藤 博

令和元年10月19日（土）に、当院で初めての企画となる「親子ふれあい病院体験」を実施いたしました。これは小学生（4年生～6年生）とその親御さんが一緒になって、医療・看護・災害救護の体験をしていただくというものです。

同様の企画は、赤十字を含む他の病院において既に行われていますが、来年、創立70周年を迎える当院の長い歴史の中において、初めての試みでした。

私がこの企画を是非行いたいと思った第一の理由は、当院がこの深谷の地で『地元に着した病院』として存立するために、原点に立ち返ることが改めて重要と考えたことです。

当院の『人道・博愛の赤十字精神のもと、地域の皆様の健康を守り、信頼される医療を提供する』という理念のもと、地域の基幹病院としての果たすべき役割を考え、そこに住む方々との交流は大変重要です。

第二の理由として、地域の子供たちは、将来の深谷赤十字病院を支える大切な人たちであり、小学生の多感な時期に、非日常的な病院という場所で医療体験をする事で、病院や災害救護などに対する意識が高まり、将来、当院のスタッフやサポーターとして成長してもらいたいとの願いがあります。

企画したスタッフは、半年ほど前から準備し、話し合いを行ってきました。そこで私が重要視したのは、スタッフ自身が楽しんで企画に参加する雰囲気を作る事でした。主催者が単に仕事として企画した「祭り」では、参加者に楽しさが伝わりにくい事ならばありません。スタッフも楽しんでお世話する事で、言葉では伝わらない気持ちを参加者に伝える事ができると思います。

当日、私は「果たして参加者は楽しんでもらえるのか？」という一抹の不安を抱きながら、この企画に参加しました。

ところが、私の不安は、参加した子供たちの興味津々の眼差しを見て一瞬で吹き飛びました。担当した手術室での「縫合・結紮」体験でも、見るもの触れるもの全てが、非日常的な新鮮な体験であった事でしょう。その子供たちの様子を見るだけで、企画を行った達成感を純粹に覚えました。

イベント終了後に行ったスタッフによる振り返りでも、スタッフ一同、強い安堵と達成感の感想をもち、次年度以降も続けたいとの気持ちを新たにしました。



開会式



「結紮」体験

「親子ふれあい病院体験」

【開催日】 令和元年10月19日（土）

【対象者】 小学校4～6年生とその保護者

【参加人数】 親子23組・49名

①医療体験

- ・手術室の見学
- ・手術時の結紮けっさう（糸結び）体験
- ・超音波検査装置の見学【人体での腹部検査】

②看護体験

- ・新生児人形を使用した沐浴（乳児のお風呂）体験
- ・聴診（心音確認）
- ・救命処置（訓練人形を使用した胸骨圧迫・AED操作）

③災害学習

- ・屋上へリポートの見学
- ・救急車と災害時医療セットの見学
- ・防災食の試食（α米とレトルト保存食）

④その他

- ・管理栄養士による「食事と健康」についての話
- ・白衣、救護服を着用しての記念撮影



「沐浴」体験



手術室での「エコ」体験

参加児童の感想（小学4年生・女子）

わたしは、病院のお仕事にきょうみがあつたので参加しました。人形の赤ちゃんをお風呂に入れたり、ふだん入れない手術室やヘリポートに行けたのが良かったです。赤ちゃんの人形をお風呂に入れるのは、人形だったけどきんちょうじました。思った以上に赤ちゃんは重くてびっくりしました。

テレビでしか見たことのない手じゅつ室。道具を見たりさわれたりして、うれしかったです。私は、不きょうなので、きず口を糸で結ぶのがむずかしかったです。ホチキスのほうが楽でした。エコーの機械がさわれて本当のおなかの中が見れて良かったです。

ヘリポートは屋上にあつたので、ちよつとこわかったです。

お昼は、ひじょう食を食べました。わたしは食べたことがなかったのど、どんな味なのか不安でした。食べてみると思ったよりおいしくて、びっくりしました。家でひじょう食を食べることがある時は、私が家族に作ってあげたいです。

参加して本当に楽しかったです。いろいろな体験ができて勉強になりました。

保護者の感想

● 普段、目にする事のできない事を実際に見たり、体験させていただいたのがとても良かったです。子供はどれも面白かったようですが、中でも興味深かったのは手術室だそうです。どのスタッフの方も本当に丁寧に対応して下さったのが印象的で、医療に従事される方の優しさが垣間見えました。

● 手術室の見学や、糸を結ぶ体験では、先生に「上手！」と誉められとても嬉しかったようです。お土産までいただき、ありがとうございました。

● 最初は娘が勉強になるからと思いましたが、親も大変興味がある内容でした。スタッフがきちんとわかりやすく説明してくれた事、色々器具を触らせてくれたり、良い体験になりました。

● 沢山の日に日赤の活動を知ってもらおう良い機会であると思います。とてもいいイベントなので、毎年の恒例行事として地域の方々に定着すると思います。

● 娘にとっても、大変興味深い内容ばかりだったようです。「また絶対行きたい！」と言って、宿題の自主学習で早速感想文を書いていました。

● 子供の将来の為、地区の為、開かれた病院を目指されている事がよく分かりました。



ヘリポートの見学



「非常食」の昼食



災害時医療セットの見学



救急車の試乗体験



聴診器を使った心音確認

前日からあいにくの雨模様でしたが、当日は、参加者の皆様とスタッフの熱意により雨もあがり、予定していたヘリポートの見学も行いうことが出来ました。

参加された子どもたちは、好奇心あふれる姿で、積極的に参加してくれたことを嬉しく思っています。

また、保護者の方には、お子さまの体験学習がスムーズに進むようにご協力いただき、大変有難うございました。

滞りなく進行できましたことを、心よりお礼申し上げます。

〈スタッフ一同〉

【令和元年台風15号災害の派遣報告】

令和元年9月9日、関東地方に上陸した台風15号は、千葉県や神奈川県などに甚大な被害をもたらしました。

全壊や半壊、一部損壊などの住宅被害は3万8千戸に及び、送電設備の障害により、最大で93万戸に停電が生じました。

医療施設や福祉施設も被災し、病院での入院・通院、施設での入所継続などに対する支援が必要となり、深谷赤十字病院では、埼玉県の要請に応じ、9月11日から13日までの3日間、災害派遣医療チーム（DMAT）を千葉県の安房地域へ派遣しました。



当院のDMATは、被災した医療施設で聴き取り調査を行い、地元の行政機関や他の支援団体へ情報提供を行うとともに、透析の必要な病院や、地域の中核的役割を担う病院の救急診療などを支援しました。

冷房が使えない施設で高齢者の容態が悪化し、心肺停止で搬送された事例も発生しました。

また、日本赤十字社の救護活動として、9月16日から19日までの4日間、同地域に赤十字救護班を派遣しました。

深谷赤十字病院救護班は、鋸南町において、先着の医療救護班の活動を引き継ぎ、連携する地域の保健師や福祉関係者と活動方針を協議しながら、避難所の巡回訪問や独居高齢者の自宅訪問を行いました。

今回の活動を通じて、停電や断水による不自由な環境が、医療や福祉の事業継続に大きな影響を与えること、また、支援する側（地元行政・被災地に入った各団体など）と支援を受ける側（被災者・被災施設など）との相互連携が非常に重要であることを、あらためて認識いたしました。

被災地の一日も早い復興を心から祈っております。



Q. 脳神経外科とは、どのような診療科ですか。

A. 脳神経外科で扱う疾患は、脳卒中（クモ膜下出血、脳出血、脳梗塞等）、脳腫瘍、頭部外傷、三叉神経痛、顔面痙攣、てんかん、中枢神経系の先天奇形（水頭症、二分脊椎等）などです。

脳卒中におけるトピックスとしては、急性期脳梗塞に対する再開通療法があります。近年の高齢化に伴い脳梗塞は増加傾向にあり、急性期脳梗塞に対する再開通療法の重要性が高まっております。従来の治療が脳梗塞再発予防であった点と異なり、再開通療法はペナンプラ領域（虚血があるが壊死までは至っていない領域）を救済し、現在進行しつつある脳梗塞を最小化するための治療です。再開通療法には、① rt-PA 静注療法と、②機械的脳血栓回収療法があります。

rt-PA 静注療法は、最終健在時刻より 4.5 時間以内を原則とし、主に細い血管の閉塞に対し有用です。機械的脳血栓回収療法は、最終健在時刻より 8 時間以内を原則とし、内頸動脈や中大脳動脈近位部等、太い血管閉塞に対する脳血管内治療です。

当院は、埼玉県ストロークネットワーク（通称 SSN）において、埼玉県北部地域における基幹病院に指定され、両治療に主体的に取り組んでおります。心房細動が原因となる内頸動脈閉塞や中大脳動脈閉塞による脳梗塞は重度障害を後遺し、その多くが死亡や重い介護が必要となるのが通例でした。しかし、機械的脳血栓回収療法導入後は、約半数近くの方が歩行状態で退院、もしくは転院するようになりました。院内に脳卒中チームをつくり、多職種チームで急性期脳梗塞に対する再開通療法に積極的に取り組んでおります。



（左より）小島医師、大島研修医、大谷部長、青木研修医、神徳医師

Q. 深谷日赤の脳神経外科の特徴を教えてください。

A. 現在のスタッフは、常勤医 3 名（脳血管内治療専門医 2 名）の体制です。また昨年、脳卒中の外科学会認定指導医を取得いたしましたので、脳外科手術、脳血管内治療の hybrid 体制で診療しております。

当院では、平成 28 年 11 月に最新の血管撮影装置が稼働しました。脳神経外科における代表的疾患である脳動脈瘤の治療に対しては、カンファレンスにて症例ごとに、開頭クリッピング術、コイル塞栓術のどちらがより安全に治療できるかを検討しつつ、積極的に治療に取り組んでおります。

脳梗塞の原因の一つである内頸動脈狭窄症に対しては、粥腫の不安定性を考慮し、頸動脈内膜剥離術と頸動脈ステント留置術のどちらが有利かを考え、より良い治療を選択できる環境で診療をしております。内頸動脈狭窄症は、全身動脈硬化性疾患であるアテローム血栓症の一部分症であることを踏まえ、総合病院のメリットを活かし、内科・循環器科と連携して診療しております。

また、脳腫瘍に対しては、ナビゲーションや術中モニタリングを併用し、機能温存を目指すとともに、内視鏡治療を取り入れ、低侵襲治療を心がけております。水頭症や慢性硬膜下血腫などの治療にも対応いたしますので、是非ご紹介いただくと幸いです。

Q. 地域の皆様に向けて一言お願いします。

A. 脳神経外科は、重度障害を残しても不思議ではない疾患を扱っております。しかし、『歩いてきた方は歩いて帰す』『救急車で搬入された方も一人でも多く歩いて帰す』ことを目標とし、この地域のお役に立てればと考えております。スタッフ一同、心を込めて診療してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程をよろしく願いいたします。

脳神経外科スタッフ

大谷 敏幸（脳神経外科部長） 神徳 亮介（医師） 小島 丈夫（医師）

新 任 医 師 紹 介



(診療科) 小児科 (医師)
 (名 前) 大崎 雅則
 (出身大学) 自治医科大学
 (趣 味) ドライブ、ゲーム
 (抱 負) 深谷日赤は埼玉県北部唯一の地域周産期センターであるため、一般小児のみでなく、新生児医療も頑張っていきたいと思っています。



(診療科) 脳神経外科 (医師)
 (名 前) 小島 丈夫
 (出身大学) 長崎大学
 (趣 味) 旅行
 (抱 負) 地域の方々に信頼していただけるような診療を目指して努力いたします。



(診療科) 歯科・口腔外科 (研修医)
 (名 前) 尾木 佳斗
 (出身大学) 九州大学
 (趣 味) キャンプツーリング
 (抱 負) 千葉大学から4ヶ月間の研修で深谷日赤に来ました。短い間ですが、充実した研修期間にしたいと思います。



(診療科) 救急診療科 (医師)
 (名 前) 佐野 秀史
 (出身大学) 東京医科大学
 (趣 味) ゴルフ
 (抱 負) 地域の救急医療に少しでも貢献出来るよう、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

チューリップサロンのご案内 (令和元年度)

チューリップサロンとは、**がん患者さんと、そのご家族のための相談・情報交換を行う場です。**
どなたでも (当院に通院されていない方でも)、ご参加いただけます。

開催日時 : 毎月第3木曜日 14時30分～ (途中参加も可能です)
 場 所 : 外来棟1階 相談支援センター
 申込方法 : 申込は不要です。当日直接お越しください。
 問合せ先 : 048-571-1511 [内線] 6272 小暮



開催日	内 容	担当者
11月21日	編み物で小物作り 昨年好評だったこの回。今年もやります!	都木 (看護係長)
12月19日	クリスマス会 お茶とお菓子を囲みながら、楽しい時間を過ごしましょう。	小暮 (緩和ケア認定看護師)、 多田 (がん看護専門看護師)、 荻野 (管理栄養士)
1月16日	薬剤師さんが教えてくれる痛みのケア 薬のプロが痛みとの付き合い方について詳しくお話してくれます。	豊田 (薬剤師)
2月20日	睡眠の話 不眠で悩んでいませんか?良質な睡眠をとるコツをお教えします。	多田
3月19日	ひなまつり 女の子の節句ですが、男性の方も大歓迎です。	小暮、多田、荻野

<地域の皆様へのご案内>

当院を受診の際は、紹介状をご持参ください。

当院受診の際（初診時）は、他の医療機関からの紹介状（診療情報提供書）をご持参いただくことをお勧めします。

紹介状（診療情報提供書）をご持参いただいた場合は、国が定める初診時選定療養費（医科5,500円・歯科3,300円）のご負担がなくなります。

連携医療機関のご紹介

長瀬医新クリニック

住 所 〒369-1311 秩父郡長瀬町大字岩田587
電 話 0494-66-1000
院 長 横山博美
診 療 科 外科、内科、消化器内科、リハビリテーション科、泌尿器科（透析科）
休 診 日 日曜、祝日、木曜・土曜の午後
診 療 時 間 (午前) 9時～12時
(午後) 2時30分～5時



院長先生からのメッセージ

「奉仕診療」の精神で、患者様に真心のこもったケアと最前の医療で幸福と健康を提供し、常に満足していただけるクリニックを目指します。

また、「安全・安心・誠実」な医療を提供していくよう邁進いたします。

さいとう歯科医院

住 所 〒360-0846 熊谷市拾六間788-34
電 話 048-533-1041
院 長 齋藤秀子
診 療 科 歯科、小児歯科
休 診 日 木曜、土曜午後、日曜、祝日
診 療 時 間 (午前) 9時～12時15分
(午後) 2時～5時30分



院長先生からのメッセージ

当歯科医院は、歯科医師をはじめ全スタッフが女性です。小児から全年齢の皆様に対応できるよう心がけております。

小児科が併設されておりますので、治療のみならず予防などの御相談にも御来院ください。

地域医療連携だより



深谷赤十字病院は地域との 医療連携に努めています。

初期診療や慢性の継続診療などは、「かかりつけ医」の先生に診ていただき、専門的な検査や診察、また入院が必要な治療は病院が受け入れるという役割分担を行うことで、地域の皆様が継続して適切な医療が受けられるような体制を維持しています。

連携医療機関のご紹介

川本メディカルクリニック

住 所 〒369-1111 深谷市武川128
電 話 048-583-7777
院 長 沼尻良克
診 療 科 内科、外科、小児科、循環器科、消化器科、
整形外科、人工透析、人間ドック
休 診 日 木曜、日曜、祝日
診 療 時 間 (午前) 9時～12時30分
(午後) 3時～6時 ※土曜は午後4時30分



院長先生からのメッセージ

平成13年9月、沼尻医院から川本メディカルクリニックとして新たに出発をして19年目となりました。地域密着医療を念頭に病気の早期発見に努めております。また、人工透析も行っております。スタッフ一同、丁寧な対応を心掛け親しまれるクリニックを目指してまいります。

そのべ病院

住 所 〒367-0054 本庄市千代田3-4-2
電 話 0495-21-2171
院 長 藺部光一
診 療 科 内科、消化器科、小児科、放射線科
休 診 日 日曜、祝日
診 療 時 間 (午前) 9時～12時
(午後) 3時～4時、5時～6時



院長先生からのメッセージ

当院は、昭和41年1月に先代院長が内科医院として診療所を開設して以来、地域医療に貢献すべく、患者様中心の人に優しい医療を提供してまいりました。内科疾患を中心に急性期から慢性期まで、また終末期の入院治療、消化器疾患を中心とした専門医療を提供しております。

INFORMATION

当院で出産される方を対象に次の教室を開催していますので、是非ご利用ください。

	内 容	開催日
ママ・パパ教室(出産準備教室) ※是非ご夫婦でご参加ください。 <1回550円>	1回目 分娩の経過と過ごし方、ストレッチ方法、家族の役割、パパも妊婦体験 2回目 入院のスケジュール、オッパイの手入れ・マッサージ方法、抱っこ・おむつ替え体験、パパも妊婦体験	1回目(第2日曜日) ① 10:00～12:00 ② 13:30～15:30 2回目(第4日曜日) ① 10:00～12:00 ② 13:30～15:30
ベビーマッサージ教室 <550円>	生後2～3ヵ月から1歳の赤ちゃんを対象にオイルを使用したマッサージを行います。	第1、2、4 火曜日 10:30～11:30
アロマトリートメントルーム <10分1,100円～>	妊娠中や分娩、産後に起こるトラブルの緩和や、リラクゼーションにアロマオイルを使用してトリートメントを行います。	毎週金曜日 14:00～16:30

栄養課からの行事食おすすめレシピ

— 花寿司 —

秋といえば食欲の秋。秋に旬を迎える食材が店頭に並び、気温の低下とともに、鍋や煮込み料理が恋しい季節となってきました。気心の知れた仲間と鍋を囲むのも、好きな具材を独り占めできるおひとり様鍋もいいですね。

今回は、人が集まる時に、小どんぶりやカップに盛り付けるとおしゃれに見える、当院の「花寿司」を紹介します。

病院では合わせ酢を手作りしていますが、今回は簡単に作れるように市販のすし酢を使用しました。酢飯の上に4種の具材を盛り付けます。

材 料 (4人分)

- 米 …… 2合
- すし酢 …… 大さじ4
- 卵 …… 2個
- 塩 …… ひとつまみ
- 油 …… 小さじ2
- A { 鶏ひき肉 …… 200g
- 砂糖 …… 大さじ2
- 醤油 …… 大さじ1.5
- B 甘塩鮭 …… 2切れ
- C { 春菊 …… 200g
- 醤油 …… 大さじ1
- ガリ …… お好み
- 松葉のり …… お好み

作 り 方

- ①米を洗って通常の水加減より少なめで炊き、すし酢と混ぜて冷ます。
- ②具材A：鍋にとりひき肉、砂糖、醤油を入れてよく混ぜる。鍋を火にかけて箸で混ぜながら水分がなくなるまで煮る。
- ③具材B：甘塩鮭は焼いて、荒く身をほぐしておく。
- ④具材C：卵に塩を加えて薄く焼き、千切りして錦糸卵を作る。
- ⑤具材D：春菊を熱湯で茹でて冷水にとる。水気を絞って3cmくらいに切り、醤油と和える。
- ⑥酢飯の上に具材を盛り付けて、ガリと松葉のりを添えて出来上がり。

※春菊がない時期は、きゅうりの千切りを塩もみした
 ものでもさっぱりいただけます。

